

生涯学習かわら版

北信地区活動だより

～「人・つながり・地域」づくりを通じたウェルビーイングの実現～

令和6年7月17日

北信教育事務所生涯学習課 文責:指導主事 菅原 勇介

北信教育事務所の生涯学習課では「社会教育」「スポーツ振興」「社会人権教育」を推進しています。今回は、信州型コミュニティスクール(CS)推進セミナーの様子をお伝えします。



信州型CS推進セミナーを実施しました



6月27日(木)に北信合同庁舎、7月9日(火)に千曲市総合教育センターで信州型CS推進セミナーを開催しました。学校関係者、行政関係者、コーディネーター、地域住民等多様な立場の方がつどい、実践発表や日頃の取組をもとに意見交換を行いました。

実践発表は「つながるすざか」の祝井一幸さん、須坂市地域おこし協力隊の小田達彦さんが行いました。

○お二人の話から

- ・学校運営委員会が形式的な報告会ではもったいない。協働活動の具体的な方針や取組を委員同士が考え実行できる会にしないと形骸化するのではないか。
- ・広報の仕方を考えたい。即時に色々な方に伝わる仕組みが必要だろう。
- ・年2～3回の会議で毎年委員も入れ替わるとなると、建設的に議論を深めて何かを実行するというのは現実的に難しいだろう。
- ・子どもたちと関わりたいという人は確実にいる。その声を学校とどうつなぐかを考えたい。そのために地域サロンや居場所づくりに取り組んでいきたい。



発表者 小田さん(左)祝井さん(右)

★グループワークのテーマ(中野会場)★

- ① CS推進にあたって行政の役割・工夫
- ② 運営委員会・協議会のあり方、組織
- ③ 広報の工夫
- ④ 地域と学校のニーズの合致
- ⑤ 放課後の子どもの活動



★グループワークのテーマ(千曲会場)★

- ① 地域と学校のニーズ
 - ② 地域コーディネーター人材の育成や参加者の高齢化
- この2テーマを軸に、若い世代への波及、PTAとの関わりなどに広がりました。

・運営委員会の前に対話のテーマを決めるのが大事ですね。
・移住先を決めるときなどに学校や自治体のホームページやSNSを見るんですね。

参加者が話し合いたいテーマを出し合い、そのことについて考え合いたいメンバーで集まりました。

・放課後の居場所づくりは安全面を考えると、学校や保護者と十分な話し合いと理解が大切ですね。

・地域づくりに取り組む多くの団体との横の展開が大事でそれぞれが何をしているのか互いに理解することが求められますね。

○参加者の感想から

- ・運営委員の選定についてや、運営委員会での話し合いの方法を考えたい。
- ・広報のあり方について、様々な意見交換ができた。学校との連携のもと、市の広報やSNSの活用について考えて行きたい。
- ・運営委員会、協議会が「報告」だけにならないために何ができるか、今後、自分が参加する際に手立てを用意しておきたい。



コミュニティスクールの研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡してください。ぜひ視察にも行かせてください。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当:菅原勇介
Tel:026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp

